5 年 生 実践事例

「物流車両の工夫見学」

指導目標	◎物流の流れを学ぶ。色々な種類の物流車両を見学する。			
	◎車に欠かせない物流事業者が行っている取組について学ぶ。			
物流 (交通 手段) を教	物流業者の車両を見学することで、車が欠かせない物流事業者が行っている環境への			
材とする	影響を軽減するための取組等について学び、地域の環境に対して自分たちにできるこ			
利点	とを考えることができる。			
	体験型であるため、子どもたちの高い取組意欲が期待できる。			
対象学年	5年生			
対応教科	社会科、総合的な学習の時間			
標準校時	2コマ			
学習構成				
	1. 地域を支える物流			
	・工業生産における物の流れについて学び、地域と物流の関わりを実感す る。			
	2. 環境への配慮がされている物流			
	・物流は地域や生活に欠かせないものであるが、排気ガスなど環境への影響が大きいため、環境を守るために色々な工夫がされていることを知る。			
	響が大きいため、環境を守るために色々な工夫がされていることを知			



- トラックにはどんな工夫がされているかを観察する。 ・また、エコドライブ等のドライバーの環境への配慮の工夫を知る。

4. まとめ

- ・物流車両見学を振り返り気づいたことを発表する。
- ・車と環境との関係や物流業界の取り組みを理解し、環境を守るために自 分たちにもできることを考える。

父週字省(() 9 9 8)

2) 物流車両の工夫見学

○学習の目的・テーマ

- 物流の流れを学ぶ。色々な種類の物流車両を見学する。
- 車が欠かせない物流事業者が行っている取組について学ぶ。

項目		概要	実施イメージ
導入 (約 10 分)	地域を支える物流	・工業生産における物の流れについ て実例を用いて学習 ・地域と物流の関わりを実感	
	環境への配慮 がされている 物流	・物流は地域にとって重要であるが 環境への影響が大きいことを認識・そのため、色々な工夫がされていることを知る	
物流車両 見学 (約 45 分)	全体説明	・見学の主旨、ポイントの理解※トラックをたくさん使う宅急便ではどんな工夫があるか観察しよう・見学方法(流れ)の理解	
	車両見学	 複数の班に分かれ、ローテーションで見学 ※電気自動車、天然ガス車、スリーター(リヤカー付き自転車)等 ドライバーが誘導しながら観察、質問(ワークシートへ記載) 	
まとめ (約 30 分)	振り返り	・気づいた点の発表(板書) ・工夫点の理由の考察、共有	
	まとめ	・車と環境との関係について学習 ・物流業界の取組を理解	
	考える	環境を守っていくために、自分に もできること(考えて発表)	

▼授業を受けた児童の声

<自分にできること>

- 見ていないテレビは消しておく。
- ・買物袋を持っていくのも自分にできることだと思いました。
- ・近いところは車で行かず、歩きや自転車を使おうと思いました。
- スリーター(リヤカー付き自転車)に乗っているのを見かけたら、できるだけ道をあけてあげたい。

<授業の感想>

- お金がかかってもいいから環境にやさしいクルマを使っているのが良いと思った。
- 僕らが見えないところで、少しでも工夫していることが分かった。



資料:交通学習のすすめ(京都府)